

令和5年度

小・中学生フォーラム in 四谷小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

6月19日（月）、四谷小学校（四谷2-6、校長：石井正広）の6年1組34名、2組33名、3組34名が、「四谷の未来創造プロジェクト」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、児童たちは班ごとに四谷地域の過去や現在について様々な視点で調べ、そこから未来の四谷をより良くするためにどうしたら良いのかを考え、各クラスの代表の班が発表しました。どの班も、「交通の便が良い」、「外国人が多い」、「歴史がある」などの良いところだけでなく、「路上喫煙が多い」、「ポイ捨てが多い」などの悪いところについても調べ、その解決策について、自分たちができることと、区や大人にしてほしいことを提案しました。

今回のフォーラムは、姉妹校である山形県天童市立干布小学校の6年生がオンラインで参観しました。また、会場では保護者や地域の方も参観しました。区長だけでなく、大勢の方を前にして、児童たちは、調査結果を話すだけでなく、クイズを交えて聞き手に伝わりやすい工夫をして発表していました。

区長からは、「路上喫煙が嫌という気持ちがすごく伝わった。これからどうしていきべきか考えていきたい」との話があり、外国人が多いことに関して、姉妹都市への留学制度の紹介がありました。また、老舗を残していきたいという児童の発表に対し「自分たちの町を守っていきこうという気持ちが強いことがわかった。四谷の魅力を外に発信してほしい」と話され、最後に、「今だけ良ければ良いというのはいけない。地域の良さを失わない町づくりを考えていきたい」と話がありました。自分たちの住む町について考え、発信する良いきっかけとなる有意義なフォーラムとなりました。

